

佐久市佐久の先人検討委員会 次第

平成23年10月3日（月）
午後1時30分～
生涯学習センター 102 会議室

- 1、 開 会
- 2、 あいさつ
- 3、 会議事項
 - 1) 先人紹介原稿のレイアウトについて
 - 先人原稿の並び順について

 - 市内関係施設の地図について
 - 2) 先人紹介原稿の確認について
 - 3) 今後の予定について
 - 4) その他
- 4、 閉会

佐久の先人検討委員会確認事項

(網掛け部分は事務局の提案で決定事項ではありません。)

■先人検討事業の進め方

- ①平成24年度末をひとつの節目とし、それまでにまとまった人物を第1集として冊子を作成する。
- ②第一次として選定した18人の原稿作成を優先し、第一次が完成したあと第二次の選定をおこなう。

■まとめ方

- ①A3版1ページ白黒印刷とする。

内容：○選定した18人の並び順は生まれた順番とし、第1集として冊子を作成する際も同様の順番で紹介する。

- 人物紹介（1500字から2000字）

→人物の紹介に2000字程度は必要となるため、原則1500字とし、最大2000字とする。

- リード文（80～100文字）を入れる。

- 中身出し（13字以内）で3～4項目を入れる。

- 年号の表記は「西暦（和暦）年」に統一する。

- 2桁数字を漢数字で表示する場合「十」は使わない。

- 故人には「氏」「さん」等の敬称は付けない。

- 写真（本人顔写真とその他2～3枚）などを載せる。

- 出典文献及び資料、市内外の関係施設等を紹介する。

→関係する施設などの地図を1枚にまとめ作成する。

→各頁の最終部分に執筆者の名前を記載する。

- 人物の年表を入れて生涯を紹介する事を検討する。

→年代が確定できない場合もあり統一して表記できないため掲載しない。

- 人物紹介の文章表現は、~~中学生が理解できる程度~~ 一般向けとする。

→当初は学校で利用する場合に表現が難しい場合は、学校の先生が内容を書き換えることを想定。~~18人全員を先生が書き換えることは難しいので中学生が理解できる程度の表現とし、小委員会で検討することとなる。~~

- ②原稿の完成までは次の通り進める。

- 上記の内容で原稿の初稿を執筆していただき、検討委員会で確認する。内容について了承が得られたものは完成とする。

- 内容に提案がある場合は執筆者へ伝え、検討していただく。

- 執筆者より修正又は提案に対する回答をいただき、再度委員会で確認し、了承されたものを完成とする。

■公開の方法

- ① 18人選んだ事を井出孫六先生の講演の前に発表し、8月の広報佐久及び市ホームページに委員会の活動状況を掲載する。
 - ・ 6月定例記者会見で18人を選定した旨の発表を市長より行った。
 - ・ 8月の広報に18人を選定した事業報告と、意見募集を掲載した。
- ②平成24年4月を目標に18人はまとめて、広報の別冊として公開する。

■原稿の活用方法

- ① A3版にまとめた物を「公民館地区館」や「児童館」等で定期的に入替えして掲示する。
- ② 「佐久の先人」のデータを関係者に提供し、加工して使用できるようにする。
- ③ 人物に関する学校や施設（支所などの公共施設）にパネルを作成し掲示する。
- ④ 垂れ幕などパネル以外のものを作成し、佐久平駅など多くの人が利用する場所に掲示する。
- ⑤ 市の施設で18人のパネルを、一括して掲示できる場所を検討し、合わせて資料の無料配布を行う。
- ⑥ 平成24年度末までに完成した内容をまとめた冊子を作成する。
- ⑦ 作成した冊子を学校の図書館、市立図書館、児童館等に配布する。

